

令和7(2025)年度 エネルギー管理功績者調書 記載例

表彰の種類		中部経済産業局長表彰	
現住所		(〒 )	
ふりがな 氏名		・ふりがなはルビにて	
生年月日・性別		昭和 年 月 日 ( 満 才 ) (男)・女 ・令和7年9月30日時点の満年齢を記載する。	
勤務先	名称 および 役職名	〇〇株式会社 〇〇部△△課 課長	
	所在地	(〒 )	
	企業概要	資本金 〇〇 百万円	事業所従業員数 △△ 名
履歴		・昭和51年 4月 〇〇株式会社入社 ・昭和59年 4月 〇〇株式会社施設課 主任 ・昭和63年 4月 〇〇株式会社施設課 係長 ・平成13年 7月 施設課 課長代理 ・平成18年 7月 施設課 課長 ・平成23年 5月 エネルギー管理者選任 ・エネルギー管理者(管理員)は必ず記載すること	
エネルギーの使用 合理化関与年数等	社内	・施設課 主任 昭和59年4月～昭和63年3月 (04年00ヶ月) ・施設課 係長 昭和63年4月～平成13年6月 (13年03ヶ月) ・施設課 課長代理 平成13年7月～平成18年6月 (05年00ヶ月) ・施設課 課長 平成18年7月～現在 (17年02ヶ月) 関与年数計 39年05ヶ月 ・主任・係長以上になった関与年数を記載する。(現在は令和7年9月30日時点とする)	
	社外	・〇〇地区自家用電気主任技術者連絡会 理事 平成13年8月～平成14年7月 (01年00ヶ月) 副会長 平成14年8月～平成19年7月 (05年00ヶ月) 会長 平成19年8月～平成21年7月 (02年00ヶ月) ・中小企業総合事業団電気使用合理化アドバイザー 平成24年1月～現在 (11年09ヶ月) 関与年数計 19年09ヶ月 (現在は令和7年9月30日時点とする) ・役員等の責任ある立場の分を記載し、単なる委員などは対象外とする。	

\* 関与年数等の欄には、エネルギーの使用の合理化業務の名称又は役職名等ごとに、関与した当初年月と関与年数を記入のこと。

各種免許等 (主としてエネルギー関連分のみ)	・平成〇〇年〇〇月 エネルギー管理士 (平成18年以前の熱管理士、電気管理士も計上)  ・平成〇〇年〇〇月 第3種電気主任技術者 ・平成〇〇年〇〇月 第一種電気工事士 ・昭和〇〇年〇〇月 第二種電気工事士	
表彰歴 <u>・主任・係長に就任した関与年数内のものを対象とする。</u>	[社内受賞] ・平成19年4月 省エネ推進活動特別表彰(社長表彰) (個人)  ・平成23年10月 省エネ商品開発アイデア賞(社長表彰) (グループ)  [社外受賞] ・平成22年2月 エネルギー管理功績者 中部地方電気使用合理化委員会委員長表彰(個人)  ・平成23年2月 エネルギー管理優良事業者等 中部地方電気使用合理化委員会委員長表彰(工場) ・平成26年2月 エネルギー管理優良事業者等 中部経済産業局長表彰(工場)	
功績概要  具体的には別紙様式により記載すること <u>・主任・係長に就任した関与年数内のものを対象とする。</u>	社内	1. 改善実績 : 照明器具にキャノピースイッチの取り付け等 11件 2. エネルギー管理者(員)、エネルギー推進委員会役職等: 2件 3. 社内講師 : 電気の取り扱い、省エネルギー、環境等に関する教育を毎年定期的に実施
推薦理由書	社外	<p>〇〇氏は、昭和51年〇〇株式会社に入社以来、エネルギー使用設備の合理化改善ならびに保全に積極的に取り組み、エネルギー管理の責任者として社内の合理化活動を推進し、その尽力により、同社はエネルギー管理優良事業者等として平成23年、中部地方電気使用合理化委員会委員長表彰を、また、平成26年には中部経済産業局長表彰を受賞するとともに〇〇氏個人としてもエネルギー管理功績者として平成22年中部地方電気使用合理化委員会委員長表彰を受賞しました。</p> <p>平成23年、同社のISO14001認証取得においては中心的役割を果たし、取得後もISOの推進責任者を務めるとともに、省エネルギー専門部会長として、また、平成23年、第1種エネルギー管理指定工場に指定されたのに伴ってエネルギー管理者に選任され、省エネルギーの一層の推進と社内教育に取り組み、また他社の電気使用合理化診断を行うなど、エネルギーの有効利用に積極的に尽力しています。</p> <p>さらに地域においても〇〇地区自家用電気主任技術者連絡会の役員を長年歴任し、電気の効率利用ならびに電気安全の普及啓発に貢献しました。</p> <p>よって、エネルギー管理功績者に相応しい人物として推薦いたします。</p>

(別紙)

功績の具体的な成果(社内、社外別に書くこと)

・主任・係長に就任した関与年数内のものを対象とする。

・社内功績は、具体的な改善実績(電気および熱)について、当人がどのように関わりを持ったかを具体的に記載する。

・具体的な内容には、機器容量や原油換算の効果まで記載する。

	項 目	時期又は期間	具 体 的 な 内 容
社 内	[改善実績] 11件	・実績は、年度の古いものから順番に記載すること(年月を記載のこと)。	
	(1)照明器具にキャノピースイッチの取り付け	平成12年3月	工場の手元照明、事務所の蛍光灯(40W×2)を個々にONN-OFFするためキャノピースイッチを250個取り付け付けた。  効果 15,000kWh/年(原油換算 3kl/年)節減
	(2)クリーンルームの休日空調運転方法改善	平成16年10月	休日を含め24時間運転していた空調機(50kW)を、クリーン度の変化しない範囲で休日停止した。  効果 10,500kWh/年(原油換算 2kl/年)節減
	(3)浄化槽フロアの回転数および間欠運転制御への変更	平成18年8月	ばっき槽のフロア(30kW)の運転方法を、連続運転よりインバータによる回転数制御とタイマーによる間欠制御の組み合わせに変更した。  効果 11,200kWh/年(原油換算 2kl/年)節減
	(4)空調用送水ポンプ圧力変更	平成19年1月	送水ポンプ(15kW)の送水圧力をインバータ回転数制御により、6.0kg/cm <sup>2</sup> →2.0kg/cm <sup>2</sup> に低減した。  効果 16,800kWh/年(原油換算 4kl/年)節減
	(5)天窓の取り付けと照明の間引き点灯の実施	平成23年4月	工場改修時に天窓を取付け、作業上影響のない範囲で照明の間引き点灯を実施した。 (110W×2灯用×50灯)  効果 65,200kWh/年(原油換算 16kl/年)節減
	(6)換気空調の導入	平成25年5月	工場内機械類の発熱により冬季でも冷房運転を実施していたが、冬季間は空調機(150kW)を、外気導入方式に変更し、室内の暖気を排気するよう改善した。  効果 50,800kWh/年(原油換算 13/kl/年)節減
	(7)工場屋根断熱塗装	平成25年7月 ～ 平成26年2月	屋根塗装面の修繕時期に合わせ、セラミック系断熱塗装に変更することにより、屋根面からの空調負荷を削減した。(30,200m <sup>2</sup> 実施)  効果 370,000kWh/年(原油換算 95kl/年)節減

(別紙)

功績の具体的な成果(社内、社外別に書くこと)			
社          内	項 目	時期又は期間	具 体 的 な 内 容
	(8) 大型空調機ファンインバータ制御	平成26年3月	空調機の更新時期に合わせファンモータ(75kW)にインバータ制御を追加した。  効果 55,000kWh/年(原油換算 14kl/年)節減
	(9)コンプレッサの台数制御による省電力化	平成26年6月	エアコンプレッサは手動で複数台(75kW×3)を運転していたが、自動台数制御方式に改善することにより、圧力に応じ運転することにして、省エネを図った。  効果 123,300kWh/年(原油換算 31kl/年)節減
	(10)照明器具インバータ式に変更	平成27年5月	照明器具(40W×2)100 個の取り替え時期(寿命)に合わせ、安定器をインバータ式に変更した。  効果 10,300kWh/年(原油換算 2kl/年)節減
	(11)エコアイス導入によるピークシフト	平成27年6月	工場の空調機を小型スポット方式から氷蓄熱空調方式に変更し、ピークシフトを図った。  (導入設備:エコアイス63kW)  効果 ピークシフト 47kW
	[エネルギー管理推進組織の役職等] 2件		
	・平成23年4月～25年3月 工場が第1種エネルギー管理指定工場に指定されたのに伴いエネルギー管理者に選任 ・平成23年4月～現在 ISO14001認証取得による環境管理責任者及び省エネルギー部会長		
	[社内講師] 5年以上継続実施 <u>・主任・係長に就任した関与年数内のものを対象とする。</u>		
	・電気取り扱い教育 (1回/年)	平成17年3月 ～ 現在	新入社員、一般従業員 30 名を対象に ・電気に関する知識向上教育 ・改善と工夫の教育 ・安全に関する教育
	・省エネルギー教育 (2回/年)	平成19年4月 ～ 現在	管理職、施設担当者 30 名を対象に ・改正省エネ法に関する教育 ・省エネルギー管理標準に関する教育 ・省エネルギー作業手順に関する教育
	・環境教育 (4回/年)	平成23年4月 ～ 現在	管理職、施設担当者 50 名を対象に ・地球環境問題に関する動機づけ教育 ・ISO14001環境規格に関する教育 ・省エネ・省資源の実務教育

(別紙)

功績の具体的な成果(社内、社外別に書くこと)		
・主任・係長に就任以降のものを記載		
社外	[他社の省エネ診断指導] 4件   ・実績は、年度の古いものから記載すること(年月を記載のこと)。	
	他社の診断指導	他社工場の省エネ診断指導の実施 ＊診断指導工場…  平成25年4月 平成26年1月 平成26年5月 平成27年2月  ・〇〇(株)〇〇工場(〇〇市) ・△△(株)△△工場(△△市) ・××(株)××工場(××市) ・◎◎(株)◎◎工場(◎◎市)
	[省エネ講演会講師等] 3件	
	省エネ講演会講師等	平成25年8月   〇〇市主催の省エネルギー事例発表会で空調の省エネについて事例を発表  平成26年2月   (財)省エネルギーセンター主催の省エネセミナーでコンプレッサーの省エネについて事例発表  平成27年2月   月刊誌〇〇の平成△△年××号に「電動機の省エネ使用」と題して投稿し掲載された。
	[指導工場の改善実績] 2 件	
	指導工場の改善実績	平成24年5月   ・〇〇(株)△△工場(××市)においてエコアイス 3 台 45kW 導入 ピークシフト 15kW  平成27年10月   ・〇〇(株)△△工場(××市)において水揚げポンプ (30kW)にインバータを採用 13,000kWh/年 (原油換算 3kL/年)節減
	[指導工場の受賞] 1 件	
指導工場の受賞	平成25年2月   ・〇〇(株)△△工場(××市)がエネルギー管理優良工場として、中部地方電気使用合理化委員会委員長表彰を受賞	

## 選考欠格事項調書

## ①過去における重大な法令違反

イ. 有      ロ. 無

法令違反年月	法令違反の概要

## ②所属する工場等のエネルギーの使用の合理化に関する法令違反（過去３年以内）

イ. 有      ロ. 無

法令違反年月	法令違反の概要

## ③所属する工場等の公害等社会問題の発生状況（過去３年以内）

イ. 有      ロ. 無

発生年月	公害等の概要

## ④所属する工場等の重大な人身事故、設備事故、災害等発生状況（過去３年以内）

イ. 有      ロ. 無

発生年月	重大な人身事故、設備事故、災害等の概要

・「選考欠格事項について」を参照して記載して下さい。